



強拡大像

自然を
楽しむ

98

「蔓じいの波は…」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

厳しい冬を蛹で耐え忍ぶキアゲハ(写真:春型雄の後翅)は、命のリレーを永々と続けています。

翅の拡大では、瓦状に整然と敷き詰められた鱗粉ですが、蛹時代に分化した鱗粉細胞1個から1枚の鱗粉が造られた結果の壮大なモザイク画なのですね。

鱗粉の多機能の内、撥水作用は表面の超微細構造により発揮され、自浄作用も併せ持っています。

キアゲハの春型は小型ですが、夏型より色鮮やかですので、来春の出会いを楽しみにして下さいね。